

20年後、介護職 69万人不足！

あなたの県は、大丈夫？（2019年度と2040年度とを比較）

※ 厚生労働省は、全国の65歳以上の高齢者数がほぼピークになる2040年度に介護職員が約280万人必要になり、現状と比べると約69万人が不足するとの推計を公表した。（朝日新聞引用）

※ コロナ渦で、国際的な人材交流が滞っている。特に、介護分野では外国人人材に頼る傾向が高まっているために、人材確保が深刻化している。

※ 20年後の介護分野の人材不足を厚生労働省が公表したところ、それに対して各メディアでは、この問題を大きく取り上げ、関心の高さを示している。

※ この人材不足の解決策の一つとして、外国人の労働力を有効活用することが望まれているが、定着率が悪い。この問題を解決するためには、長期的な人材育成を目的として、計画的に教育すべきだ。

I. 【表1. 都道府県別介護職員不足数の解析】

1. 2040年度に必要な介護職員と、19年度の職員数と比べて、不足する人数は！！

- 表1は、都道府県別の2040年度に必要な介護職員数と、それに対する不足数を表したものだ。北海道を除いて、大都市圏を中心に不足する県が多いのが分かる。必要な数で最も低い県は鳥取県で、13,256人となっており、逆に、最大必要な数は東京都で、263,741人だ。

- 都道府県別の人口と比較すると、「必要数並びに不足数」は、正比例している。但し、この数値は20年後の予測数値であるために、人口の変動を加味する必要がある。そのため、必ずしも正確なものとは言えない。
- 正確性を高めるためには、2019年【都道府県別人口の平均年齢】（総務省統計局「人口推計」）による数値を加味する必要がある。

全国の平均年齢は47.4歳となっており、これを基に20年後を単純に推定すると、67.4歳となる。但し、出生率の増減によっては、この数字は変動する。今は少子化傾向が強いために、平均年齢はさらに高くなるはずだ。

- これを都道府県別にみると、一番高い県は秋田県の52.8歳で、次に、高知県の51.0歳と続く。一番低い県は沖縄県の43.1歳となっている。これによると大都市圏であっても、東京都が45.2歳、大阪府が46.9歳、愛知県が45.4歳で、福岡県が46.6歳と高い平均年齢を示している。

2. 本格的な「老々介護時代」到来！！

- 厚労省の20年後の【都道府県別介護職員不足数】は、総務省統計局の【都道府県別人口の平均年齢（2019年現在）】を加味して推計しているとは思えない。現在、加速的に高齢化が進んでいることを考慮すると、厚労省の発表数値よりはるかに多くの不足数が出ることが予想される。このことを推測すると、20年後ではなく、10年後には本格的な「老々介護時代」を迎えることとなる。

- 介護分野での労働力確保は、現在でも困難であり、また確保できても中高年者を中心とした人材となっている。今後の人材は、高齢者を中心にならざるを得ないことが明確だ。それに備えて外国人労働力を活用すべきだ。

表1.【都道府県別介護職員不足数】

都道府県	必要数	不足数	都道府県	必要数	不足数
北海道	133216	32247	三重県	40172	8409
青森県	33417	5104	滋賀県	29833	9600
岩手県	27588	3755	京都府	50378	9935
宮城県	48906	13732	大阪府	235608	55400
秋田県	24213	1611	兵庫県	134276	37399
山形県	24180	3331	奈良県	35615	10204
福島県	38397	5924	和歌山県	25931	1625
茨城県	58108	16107	鳥取県	13256	2195
栃木県	40076	12491	島根県	18498	1738
群馬県	48329	11128	岡山県	41292	6839
埼玉県	139931	46437	広島県	66758	15255
千葉県	122736	35846	山口県	32782	5361
東京都	263741	80630	徳島県	17218	1799
神奈川県	203805	64470	香川県	21348	3727
新潟県	50814	9242	愛媛県	38373	6806
富山県	22922	3862	高知県	15707	1415
石川県	25837	6426	福岡県	121345	35124
福井県	13466	-144	佐賀県	19065	3753
山梨県	16904	3215	長崎県	31873	4473
長野県	49286	11503	熊本県	39341	7566
岐阜県	46227	14719	大分県	30094	6499
静岡県	71817	17507	宮崎県	27251	5804
愛知県	140940	37377	鹿児島県	40849	8450
			沖縄県	30859	10797
【朝日新聞 21年7月19日】		全国	2802578	696693	

II.【県民数と介護職員不足数を比較してみたよ！！】

表2.【都道府県介護職員不足数順位表】

順位	都道府県	不足数	県民数	平均年齢
1位	東京都	80,630	13,515,271	45.2歳
2位	神奈川県	64,470	9,126,214	46.1
3位	大阪府	55,400	8,839,469	46.9
4位	埼玉県	46,437	7,266,534	46.5
5位	兵庫県	37,399	5,534,800	47.7
6位	愛知県	37,377	7,483,128	45.4
7位	千葉県	35,846	6,222,666	47.1
8位	福岡県	35,124	5,151,560	46.6
9位	北海道	32,247	5,381,733	49.6
10位	静岡県	17,507	3,700,305	48.2
11位	茨城県	16,107	2,916,976	47.9
12位	広島県	15,255	2,843,990	47.5
13位	岐阜県	14,719	2,031,903	48.1
14位	宮城県	13,732	2,333,899	47.5
15位	栃木県	12,491	1,974,255	47.7
16位	長野県	11,503	2,098,804	49.3
17位	群馬県	11,128	1,973,115	48.1
18位	沖縄県	10,797	1,433,566	43.1
19位	奈良県	10,204	1,364,316	48.7
20位	京都府	9,935	2,610,353	47.5
21位	滋賀県	9,800	1,412,916	45.6
22位	新潟県	9,242	2,304,264	49.7
23位	鹿児島県	8,450	1,643,177	49.1
24位	三重県	8,409	1,815,865	48.1
25位	熊本県	7,586	1,786,170	48.3
26位	岡山県	6,839	1,921,525	47.8
27位	愛媛県	6,806	1,385,262	49.7
28位	大分県	6,499	1,166,338	49.4
29位	石川県	6,426	1,154,008	47.8

※ 29位以下は表1参照。 県民数と平均年齢は、2019年の数値

1. 大都市圏ほど不足数が多いのはなぜか？

- 表2の10位までは、県民数が370万人以上の都道府県だとわかる。これは、人口と不足数が正比例している。人口が多いほど、当然のことながら不足数が多いということだ。
- 平均年齢を加味して解析すると、全国平均の平均年齢は47.4歳であり、大都市圏は全国平均年齢より低く、若い世代が多いことを表している。一方、11位以下の県では沖縄・滋賀県を除き、全国平均年齢を上回っている。と同時に、県民数は、200万代から100万代が中心となり、100万代以下の県は、山梨・福井・和歌山・鳥取・島根・徳島・香川・高知・佐賀県の9県にも及ぶ。最下位の鳥取県は、人口がわずか573,441人だ。
- 人口が急速に減少している中、地方から大都市に就労する人自体が減少している。さらに、大都市圏での介護職を運ぶ人が減少しているからだ。

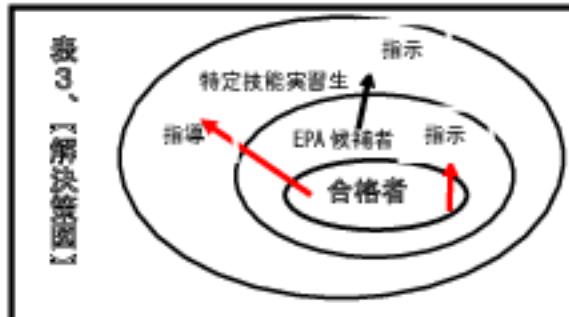
2. 69万人不足をどう解消するか？

- 県民数から69万人を見た場合は、島根県民数とほぼ同数だ。即ち、島根県民が幼児から老人まで全員が介護職に就かなければならない数となる。
- この数字を考えると、日本人だけで将来の介護制度を維持することは、ほぼ不可能と言える。残る方法は、積極的かつ大胆に外国人労働力に頼るしかない。
- 即ち、人材派遣会社編みの外国人労働者確保方法を辞め、自治体単位か国単位で、抜本的に法制度を変えて、外国人受け入れ体制を整えるしかない。
- 最大の問題点は、外国人労働者の質の問題だ。第一に挙げられるものとして、言語能力だ。意思疎通ができない外国人介護職は労働力とならないし、日本人の仕事を増やすだけとなる。
- 第二に、日本社会に溶け込める人材が必要だ。日本の社会を理解し、日本人の習慣や価値観を理解させる教育が必要だ。それができてこそ、初めて日本人を介護する資格があると言える。
- 第三に、外国人が長期的に就労できる受け入れ体制の整備が必要だ。そのためには、受け入れ側が短期労働者としてのいわゆる、「使い捨て人材」の対応は絶対に止めるべきだ。

3. 外国人人材の育成方法とは！！

- A. 表3【解決策図】は、国家試験合格者を中心に外国人人材を育成する方法を表している。
- B. 合格者は外国人人材の育成だけではなく、母国との関係を利用して、新たな人材確保のために重要な役割を果たす。
- C. EPA候補者には日本語教師と合格者が教育指導と共に進行し、確実に国家資格が得られるように教育環境を整える。
- D. 特定技能実習生にも、受験を意識づけて合格を目指す。

※ 【帰属意識】は日本語教育を通じて養い、合格後にも長期就労（最低10年間）意識を確立させる。



施設・病院の声

「受験者の紹介」で新たに受け入れ！！

- 当施設は昨年と今年は、ベトナム人候補者を受け入れることができた。受け入れ競争力が高く、また、大きい法人がごそっと受け入れるという傾向がある中、なんとか獲得できた。
- 昨年入職した「受験者の紹介」で新たに受け入れることができ、ちょっと安堵している。

(福岡県・F施設)

多人数受け入れをしても定着が悪い！！

- ベトナム人をまた、新しく一名受け入れることができた。しかし、その前に受け入れていた同じベトナム人がいたが、結婚を理由に国家試験を受けずに、突然途中で帰国した。年頃の女性のため仕方がないと思うが、本当の話かどうかが、疑問だ。せっかく仕事にも慣れたと思った矢先だったので、また、一から新たな人を育てていかなければならぬと思うと、残念でならない。せめて、EPA制度上の三年間は在籍しなければならない義務がほしい。当施設だけでなく、他の施設でも「結婚を理由」に国家試験を受けずに帰国してしまう話も耳にする。特に、ベトナム人が多いのではないか。
- EPAだけではなく技能実習生をインドネシア人3名、受け入れる予定で決まっていた。しかし、大手の派遣会社に受け入れの契約を頼んでいたが、誰一人来なかつた。受け入れに対するお金は、かからなかつたが、現地で面接をした経費がかかつたため、それは全て、台無しになってしまった。
- 技能実習生の受け入れでも、今は難しく、国を変えて検討しなくてはいけないのかと悩んでいる。特定技能は、日本語研修の時間が他の業種よりも長く、日本語力もより必要不可欠となるため、介護の業種よりも、単純作業でもっと待遇の良い所で働く傾向があるのかなと思う。(広島県・F施設)

途中で放り出す無責任な教師！！

- 当施設では、EPA候補者と特定技能実習生を受け入れている。人材不足もあり、今後は特定技能も多く受け入れなければいけないと考えている。
- 実習生も意思疎通ができないと仕事を任せられないため、近所の教師に日本語指導を依頼していたが、二回目の学習時から教師と連絡が取れなくなつた。そこで、ことばの研究社に急遽、お願いして日本語学習を継続できて、助かった。

(千葉県・H施設)

全ては本人の頑張り次第！！

- EPAの受け入れの競争が激しい中、新たに候補者が決まって良かった。理事長が中心に動いていて、職員はそれについて動いている状況だ。
- 日本語学習や受験対策のやり方は、色々あると思うが、最終的には本人の頑張りで合格が決まるようなものだと考えている。(岡山県・O施設)

合格しても怖くて医療業務はさせられない！！

- 「正看護師」の求人をかけると、日本人の応募はあり、人材不足だと感じていない。一方で、「看護助手」を募集しても来ないので現状だ。それを補うために今のところ、EPA制度を活用している状況だ。そのため、仮に合格できなくても、3年間は人手確保ができるため、毎年EPA受け入れをしている。
- 病院の方針は、必ず国家試験に合格して、正看護師となって定着してほしいという考え方ではない。実際問題、国家試験合格率が10%程度であり、合格することは難しいと考えているためだ。当病院でも正看護師・准看護師と合格できた者も、わずかながらいる。しかし、合格できても日本語力の問題もあり、意思疎通が上手くいかず、「医療業務をさせるのが怖い」という現場の声がほとんどだ。合格しても、候補者の時と同じような仕事しかさせられることから、帰国する者が多く、定着しないのが実態だ。
- 以前は、看護師をつけて午後の時間を利用し、受験対策の指導に力を入れていた時もあったが、上記のような理由から、日本語学習や受験対策も自主学習をさせている。やる気のある人は勉強するし、やる気のない人はしない。そのように割り切って受け入れを行っている。

(福岡県・F病院)

合格できても、任せられる範囲が限られる！！

- インドネシア人を受け入れてきたが、国家試験に合格することは難しかった。午後、看護師が受験対策をしたり、日本語学習も職員が見ていたが上手くいかなかつた。そのため、国を変えて、ベトナム人を受け入れ、合格者を出せるようになった。勉強に対しては真面目で、勉強量が違う。合格率が高い理由が分かるような気がする。
- 合格したので、実際に現場ですぐに業務ができるかと言われば、それは別問題だ。専門用語を使う医療業務となると、意思疎通が十分でないために、任せられる範囲が限られてくるし、今後の課題が多い。

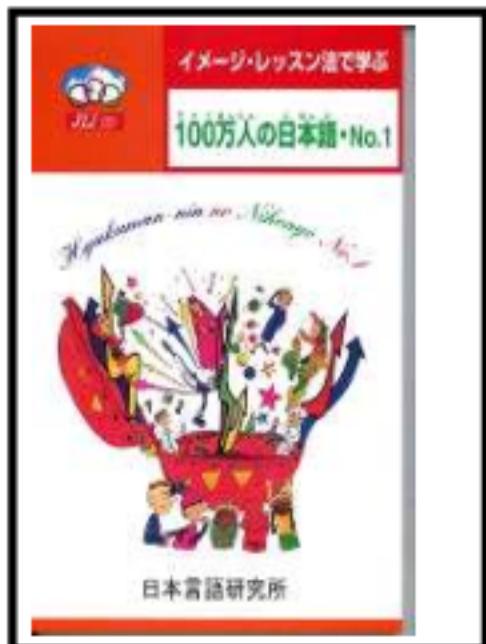
(福岡県・K病院)

自学能力を養うための 適切な教材！！

- ① 視覚的に学べる
- ② 日本語の「規則性と用法」が学べる
- ③ 漢字も類推して読める
- ④ ストーリー性があり、体系的に作られている

学習支援 主教材

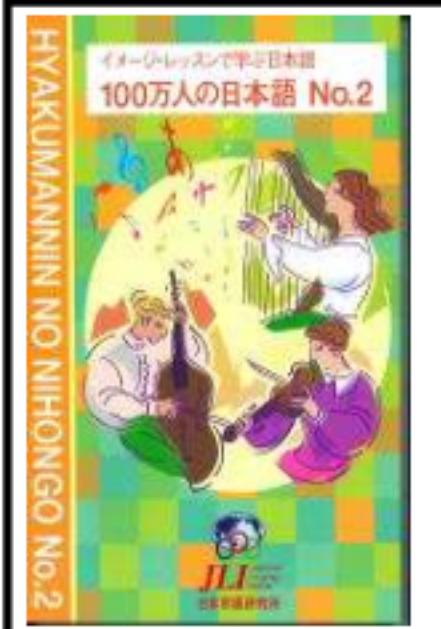
基礎言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.1」】

ひらがな・基本漢字の習得とともに、全ての言語活動の基本となる概念を形成し、名詞文・存在文・普通動詞文を無理なく学習できる構成となっています。（2,805円）

※ 習得漢字数 310字～620字



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】

会社や学校、家庭内などあらゆる場面における会話文を中心に構成され、社会生活に必要な抽象語を理解しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得できます。また、形容詞文学習により心情・語感表現力の基礎を築きつつ、各ページのコーナーで日本語のあらゆる規則性と用法を自学できます。（2,805円）

※ 習得漢字数 420字～840字

※ 習得語彙数 570語～1,710語

生活言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】

日本社会に適応できる人間関係を理解して、目上の人にに対する礼節を保つ表現力が身につきます。

論理的に文を組み立てた長文が書けると同時に、漢字熟語を使った要約文を書けるようになります。

仕事に関連する語彙を自分で辞書を引いて調べることができます。（3,300円）

※ 習得漢字数 850字～1,700字

※ 習得語彙数 1,110語～3,330語

EPA学習支援
スカイプ・報酬の問い合わせ先
ことばの研究社
電話：086-486-1742
FAX：086-486-1744
岡山県倉敷市倉敷方841

使ってみてビックリ!

教育効果の高さ

学習支援 副教材

基礎言語能力レベル

職員の手が掛からずに、

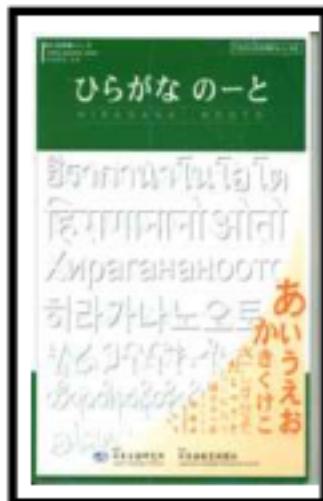
受験者だけで勉強できる教材



表面にはひらがな文字が一字ずつ書かれており、裏面にその文字を使った語のイラストが色彩鮮やかに描かれています。

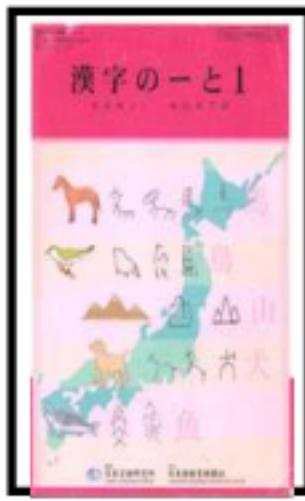
イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら自学できるつくりになっています。基礎教育の日本語学習者に最適な内容になっています。

(1,155円)



ひらがな文字の自学に最適な教材です。字形、書き順などの練習だけでなく、全ての日本語の基礎となる「しつもんとこたえ方」に絶対必要な発話方法を、身近な事例を使って学習できるようになっています。社会生活に必要な最低限の語彙も同時に習得し、定着できるように作られています。

(1,980円)



『100万人の日本語 No.1』に沿った構成となっており、文型・成文の習得をしながら効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。

非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適。

また、中国人学習者にも同様です。(1,496円)

生活言語能力レベル



カタカナ語彙を使った場面を表すイラストが各ページにあります。このノートは説明文と会話文が織り成されています。この場面を紹介する文は、外来語の理解とその音出し練習をしながら、練習問題によって読解力と文型の応用力を養えるようになっています。

(1,496円)



『100万人の日本語 No.2』に沿った構成となっており、漢字習得と成文練習のみならず、読解力も同様に養えるように作られています。

漢字の「へん・つくり」の付録もあって、漢字の成り立ちに対する理解ができる内容となっています。

非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適。また、中国人学習者にも同様です。(1,496円)

学習支援

EPA学習支援 コース

覚えるのではなく、理解させる A コース

ことばの研究社

◎ 到達度試験Aコース(独立型)

<自学能力養成型コース>

【一年目 到達度試験 初回レベル～Dレベル】

※ 【自学能力】を養うことを目的としたコースです。言語能力は、日本人の中学生までの能力に達するようにプログラムされています。

※ 【自学能力】を養う教材を使用

主教材 ・「100万人の日本語No.1」
(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」
(中文読解と文脈理解育成用)

副教材 ・ひらがな絵かくと(瞬時反応能力育成用)
・ひらがなのーと(構文力育成用)
・カタカナノート(説明文・会話文の用法育成用)
・漢字の一と1(基礎漢字と文型理解育成用)
・漢字ノート2(熟語漢字習得育成用)
・手渡し教材随時

【二年目 到達度試験 Eレベル～国試3レベル】

※ 日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。そのため、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけではなく、文書で解答できる能力が育成できます。

※ 主教材 ・「100万人の日本語No.3」
(日本語の運用と活用育成用)

副教材 ・手渡し教材随時
・国家試験過去問題集

【三年目 スカイプ授業 5回(1回2時間)】

※ 日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

※ 主教材 ・専門参考書

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【指導内容】
①職種に合わせた専門書の理解の仕方指導
②類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導
③要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書提出し、現場の指導に役立てます。】

※ 【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※ スカイプ授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一 年 目	★基礎言語能力の育成 ①日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ②1,755語の基本漢字が習得でき、日本人の中学生レベルの言語能力をか養う。 ③会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学生レベルまで、できるようになる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従つて行動できるようになる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができるようになる。 ④簡単な業務日誌が書けるようになる。
	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自動的に行い、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本語力を高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えられるようになる。 ②専門用語の漢字を「類推して読解」できるようになる。 ③自学で「過去問」ができるようになる。
	★職域言語能力の育成 ①日本語を使った「業務実践力」を行える能力を養う。 ②会議等で意見を発言し、内容把握ができる能力を養う。 ③要約力を養い、会議等で的確なメモをとれる能力を養う。 ④日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できるようになる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して読み理解できるようになる。 ③マークシートの解答ではなく文書による解答ができるようになる。

◎ 到達度試験Bコース(併用型)
<おまかせコース>

【一年目 到達度試験(初回～Dレベル)+スカイプ】

※ 【自学能力】を養える【到達度試験】と対面教育ができる「スカイプ授業」を併用しています。日本人の中学生までの能力に達するプログラムで特に、正しい会話力が身につけられるコースです。

※ 【自学能力】を養う教材を使用

主教材 ・「100万人の日本語No.1」
(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」
(中文読解と文脈理解育成用)

副教材 ・ひらがな絵かーど(瞬時反応能力育成用)
・ひらがなのーと(構文力育成用)
・カタカナノート(説明・会話文の用法育成用)
・漢字の一と1(基礎漢字と文型理解育成用)
・漢字ノート2(熟語漢字習得育成用)

【二年目 到達度試験(E～国試1レベル)+スカイプ】

※ 日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。スカイプ授業併用なので、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけではなく、文章で解答できるようにプログラムしています。

※ 【自学能力】を養う教材を使用

主教材 ・「100万人の日本語No.3」
(日本語の運用と活用育成用)

副教材 ・手渡し教材随時 ・国家試験過去問題集

【三年目 到達度試験(国試2、3レベル)+スカイプ】

※ 日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。日本人の職員と同等に業務ができるまで的能力に達するように、プログラムしています。また、国家試験合格後でも、同じ職場で働く意欲を養うことも目的としています。

※ 主教材 ・専門参考書

副教材 ・手渡し教材随時 ・国家試験過去問題集

【指導内容】

① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導 ② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導 ③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書を提出し、現場の指導に役立てます。】

※ 【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※ スカイプ授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

★基礎言語能力の育成

①スカイプ授業を併用するために、対面学習で、適切なプロの指導が受けられる。そのためには、確実な日本語力が養える。
 ②日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。
 ③1,755語の基本漢字を習得でき、日本人の中学生2年生レベルの言語能力を養う。
 ④会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。

●日本語能力を養う

①職場での会話力は、日本人の中学生2年生レベルまで到達できる。
 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できる。
 ③読み解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができる。
 ④簡単な業務日誌が書ける。
 ⑤スカイプ授業は、受験者の表情を教師が読み取れるので、「本当に理解しているか、どうか」が判断でき、確実な言語能力がつく。

★生活言語能力の育成

①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。
 ②仕事を自動的に行い、責任を持って業務を遂行する能力を養う。
 ③日本人の高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。
 ④日常会話力が支障なく使える能力を養う。

●国家試験受験能力を養う

①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えることができる。
 ②専門用語の漢字を「類推して読み、意味理解」できる。
 ③自学で「過去問」を解ける。
 ④スカイプ授業併用型なので、問題・疑問が、その場で解決できる。

★職域言語能力の育成

①業務の実践力を養う。
 ②会議で意見を発言して内容把握でき、メモをとる能力を養う。
 ③話の内容を的確にまとめる能力を養う。
 ④日本人社会人と同等レベルの言語能力を養う。
 ⑤スカイプ授業なので日本人感覚の「語感・語調」を、正しくプロの教師が養う。

●国家試験合格能力を養う

①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読み解できる。
 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して、読み理解できる。
 ③マークシートの解答ではなく文章による解答ができる。
 ④専門語彙と専門知識を自学できる。

【国家試験受験能力到達度試験の特徴】 EPA学習支援 ことばの研究社

【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い、言語技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。教育効果は介護分野では、国家試験合格率を**3年間連続で、80%以上の実績を誇っています。**また、看護分野でも、EPA受験者全体の合格率が10%前後に留まっているのに対して、【到達度試験参加者】の合格率は、**55%**と高い水準を保っています。

これは、**受験者全体の合格率10%の5倍の高さ**を示しており、驚異的な合格率といえます。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で社会人として働く能力を養うことを、重要視した学習方法です。さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、介護施設や病院などで実践力のある要員として、育成することを目的としています。※【到達度試験参加者】には、定期的に試験結果を「考察票」でお送り致します。「考察票」には、指導者用のために、具体的な指導方法を記しておりますので、安心してご指導頂けます。

レベル	合格基準	特徴	技能の種類
3段階	75 % 専門学校卒の言語能力	※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う ◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」に対応できる学習をさせる。	★ 5技能 ・瞬時反応 ・文脈読解力 ・要約力など
2段階	90 % 専門学校 2 年の言語能力	※ 専門知識の活用力を養う ◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」(漢字熟語)と「文脈読解力」に対応できる学習をさせる。	★ 4技能 ・瞬時反応 ・漢字熟語力 ・文脈読解など
1段階	90 % 専門学校 1 年の言語能力	※ 専門知識の運用力を養う ◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」(語彙力・文意力)に対応できる学習をさせる。	★ 3技能 ・瞬時反応力 ・文意読解など
F段階	85 % 高校 3 年の言語能力	※ 専門領域の基礎力を養う ◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で学習させる。	★ 4技能 ・瞬時反応力 ・文意読解など
E段階	80 % 高校 1 年の言語能力	※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった運用力が身につく学習をさせる。	★ 9技能 ・文読解力 ・図読解力など
D段階	75 % 中学校 2 年の言語能力	◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった自学力が身につく学習をさせる。	★ 11技能 ・対応力 ・要約力など
C段階	70 % 小学校 6 年の言語能力	◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった自学力が身につく学習をさせる。	★ 11技能 ・瞬時反応力 ・文脈力など
B段階 N2レベル	70 % 小学校 4 年の言語能力	※ 日本語の基礎知識を養う ◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な知識とその使い分け」ができる能力を中心として学習させる。	★ 11技能 ・瞬時反応力 ・読解力など
A段階 N3レベル	75 % 小学校 3 年の言語能力	・構文力・読解力・文字(ひらがな・カタカナ・漢字)・助詞・接続詞の使い分けなど。	★ 13技能 ・瞬時反応力 ・文字認知力 ・読解力など
初回		受験者の現状の日本語能力を観る。	

